（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	キッズデイあしたば

公表日　令和　8　年　1　月　30　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		広くはないが、作業などは集中して取り組むことが出来ている。活動内容を工夫し狭さを感じさせないようにしている	まだ工夫の余地があると思うので、改善していきたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		児童人数に応じた職員配置が確保されている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		バリアフリー化をもう少し改善したい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	4	2	個別の部屋はないが、パニックなどを起こした時には、クールダウン出来るように場所を移している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		日々、職員同士での報告・連絡・相談をするようにし、全職員で情報を共有するようにし、問題があった場合にはすぐに話し合いの場を設け改善するようにしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	保護者アンケートの意見を職員に伝え意見に対して対処し、業務改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	職員の意見を聞く機会を持ち、業務改善に努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現在は保護者の方の評価と社内評価のみです	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		受けられる研修は受けてもらっている。法人内での研修も定期的に実施している	研修の機会をもう少し増やしていきたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		アセスメントや面談を行い、個別と集団を組み合わせて計画を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		計画を作成する際は職員にも話を聞くようにしている。今必要な支援を検討している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画が作成出来たら職員で共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動内容は全職員で話し合いを行っている。子供のレベルに合わせたプログラムを組むようにしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		活動までの流れなど固定化した方が良いことは固定化し、活動内容は固定化しないように工夫している	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援前に必ずミーティングを行い、業務内容の確認、前日の引継ぎを行っている。ミーティングに参加できなかった職員には個別に内容を話すようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6		基本的には業務終了後に振り返りをしているが困難な場合には翌日に行うようにしている。欠勤している職員には、引継ぎノートを作り確認してもらうようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援記録に利用時の様子を記入し、支援計画に生かすようにしている。支援員にも支援記録に目を通してもらうようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的に保護者や職員に児童の様子を聞き、個別支援計画の見直しをするようにしている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	担当者会議には、児童発達管理責任者.管理者が参加している。必要に応じ支援員も参加してもらっている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。		6	今は受けていない。今後機会があれば積極的に研修等受けていきたい	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	今現在交流する機会を持っていないが、参加できる機会があれば参加していきたい	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	送迎時など保護者の方に話を聞くようにしています	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	今のところ行っていない	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	3	契約時に丁寧に説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		計画が作成出来たら、保護者の方に丁寧に説明するようにしている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	保護者様からの相談には随時相談にのるようにしている。保護者様のご意向があれば面談や助言を行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	保護者様からの意見を聞きながら検討しているところです	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月のお便りやSNSで事業所の情報を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報については鍵付きの書庫に入れ保管している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	3	選択肢をいくつか用意し意思の疎通を図るようにしている。食い違いや認識のちがいがないように再確認をするようにしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			HIたっちなかよし祭りに参加して地域の方とコミュニケーションを図っている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアルを作成し、職員に指導している。保護者に向けては面談や契約時に説明している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定し職員研修を年に１回以上行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		服薬変更や病状変化があった場合保護者の方に連絡していただき、職員で情報共有しています	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーの聞き取りと、書面でのアレルギーの有・無を提出をしてもらっている。おやつ提供時には成分表示を２重チェック確認し提供している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	2		安全計画について保護者への方への周知を強化していきます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットを作成し、事例が上がるたびに職員で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止が義務化されたことにより、職員への研修機会も増やしどのようなことが虐待に当たるか認識し徹底するようにしている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		身体拘束は基本していません。自傷、他傷行為がある児童には、保護者にも同意を得、個別支援計画書にも記載し静止をかけるようにしている	